

令和元年度 文教委員会資料

【所管事務の調査（報告）】

川崎市市民ミュージアム収蔵品レスキューについて

資料1 川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

資料2 川崎市市民ミュージアム 被災収蔵品に係る修復等の判断基準について

市 民 文 化 局

（令和2年3月13日）

川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

1 収蔵品レスキューのこれまでの経過・対応内容

(1) 主な経過

令和元年	10月22日	収蔵品レスキュー開始
	10月23日	文化庁へ救援等にかかる技術的支援の要請
	10月24日	文化庁文化財等災害対策委員会により技術的支援を実施決定
	11月15日	外部支援団体によるレスキュー開始
	11月30日	施設前広場に仮設ユニットハウスを設置（資料の応急処置や一時保管に活用）
	12月6日	施設前広場に冷蔵・冷凍コンテナを2機設置（紙資料等の冷凍保存に活用）
	12月11日	常設展示室で展示していた収蔵品を館外へ搬出、保管
令和2年	1月14日	閉鎖していた収蔵庫1から民俗資料レスキュー開始
	1月22日	外部冷凍倉庫（川崎市内）への搬出
	1月23日	収蔵庫2から考古資料レスキューを本格的に開始
	2月18日	施設前広場に冷蔵・冷凍コンテナを1機追加設置（計3機）
	3月2日	1階ラウンジ内に燻蒸庫を設置（資料の燻蒸処理に活用）

2 レスキュー支援体制（令和2年3月9日現在）

(1) レスキューに入った延べ人数

・指定管理者	約 1,800 人
・川崎市職員	約 700 人
・外部支援団体	約 1,100 人
合計	約 3,600 人

(2) 支援団体

これまでに支援に来ていただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（10団体）
独立行政法人国立文化財機構
独立行政法人国立美術館
大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立国会図書館
公益財団法人日本博物館協会
公益社団法人日本図書館協会
全国美術館会議
全国歴史民俗系博物館協議会
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）
一般社団法人国宝修理装演師連盟

その他支援・協力団体（4団体）
神奈川県博物館協会
日本大学芸術学部写真学科
東京大学史料編纂所
学校法人専門学校 東洋美術学校

3 収蔵品のレスキュー状況 (令和2年3月9日現在)

(1) 収蔵庫別

収蔵庫 主な収蔵品	収蔵数(約)	出庫数(約)	出庫率(約)
〔第1収蔵庫〕 民俗	18,200	3,100	17%
〔第2収蔵庫〕 考古	71,600	17,400	24%
〔第3収蔵庫〕 歴史	41,000	34,600	84%
〔第4収蔵庫〕 美術文芸	11,100	8,500	77%
〔第5収蔵庫〕 借用作品、美術文芸、映像	500	500	100%
〔第6収蔵庫〕 漫画(雑誌)	41,300	41,300	100%
〔第7収蔵庫〕 グラフィック	10,000	4,600	46%
〔第8収蔵庫〕 写真・漫画原画・映画	32,000	30,900	97%
〔第9収蔵庫〕 映画	1,900	1,400	74%
〔その他〕 映画・映像	1,400	400	29%
合計	229,000	142,700	62%

(2) 分野別

分野	収蔵数(約)	出庫数(約)	出庫率(約)
〔考古〕	71,600	17,400	24%
〔歴史〕	29,200	25,400	87%
〔民俗〕	20,900	3,100	15%
〔美術文芸〕	11,300	8,500	75%
〔グラフィック〕	10,000	4,600	46%
〔写真〕	8,600	8,100	94%
〔漫画〕	63,100	63,100	100%
〔映画〕	12,600	10,800	86%
〔映像〕	1,700	1,700	100%
合計	229,000	142,700	62%

※上記表の点数は、浸水被害を受けていない収蔵品を除いた数です。

4 主な収蔵品のレスキュー状況概要（令和2年3月9日現在）

【指定文化財】

現状	資料名
修復中	・県指定重要文化財「鰐口（春日神社）」 ・市重要歴史記念物「後北条氏虎の印判状」 3件 ・市重要歴史記念物「紙本墨画淡彩 仙女図」 ・市重要歴史記念物「関東下知状」（写真1） ・市重要歴史記念物「青銅製鰐口」（写真2） ・市重要歴史記念物「宿河原縄文時代低地遺跡 出土品」のうち4点
応急処置中	・市重要歴史記念物「古筆手鑑「披香殿」」解体、洗浄まで完了し、乾燥中 ・市重要郷土資料「黒川の獅子頭（3頭）（初山獅子舞保存会）」水洗、乾燥、エタノール処理が終了しており、館内保管中 ・市重要郷土資料「大師河原の漁撈具（131種 457点）」一部を収蔵庫から搬出し、水洗作業等を実施中

【考古】

現状	資料名
応急処置中	・約 5,000 箱のコンテナのうち、水抜き作業済は約 1,200 箱

【歴史】

現状	資料等
冷凍保管中	・古文書等コンテナボックス 約 690 箱（上小田中村 原茂氏所蔵文書関連、岡上村 梶家関連、長尾村 鈴木惣家文書等） ・江戸時代の村絵図などの絵図類約 30 点 ・東海道五十三次図屏風などの屏風 4 点

写真1 「関東下知状」



浸水前

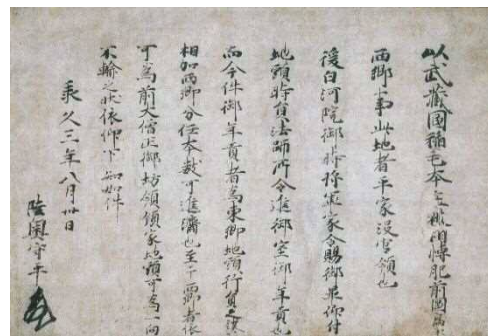


写真2 「青銅製鰐口」



浸水前



【民 俗】

現状	資料等
応急処置中	・ 民具等のうち約 3,100 点が水洗作業・乾燥しており、そのうち約 1,490 点はエタノール処理が終了し館内保管中
冷凍保管中	・ 紙資料 コンテナボックス 34 箱

【美術文芸】

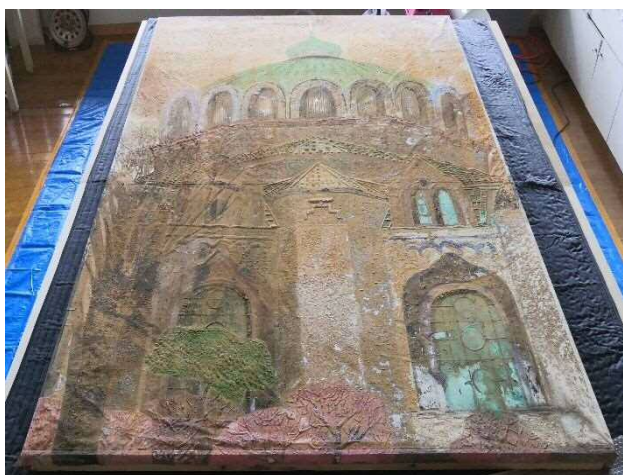
現状	資料等
応急処置済	・ 安田靫彦の「草薙の剣」(写真3)「小鏡子」「神農」3点 ・ 大矢紀「春彩」「活火風声」2点 ・ まどみちおの絵画約 1,000 点 燻蒸まで実施
応急処置中	・ 大矢紀「ニコライ堂」(写真4) 1点 乾燥 ・ 大矢紀 29 点や結城天童の作品の大型作品計 49 点 乾燥まで完了し、今後燻蒸予定 ・ 市縁作家の版画(斎藤寿一「青い点」)やドローイング(渡辺豊重「虚形」(写真5)、田中岑「記憶」(写真6))、江戸時代・明治時代の版画、それら関連作品や資料約 2,300 点 順次燻蒸実施 ・ 安田靫彦の画稿約 580 点 順次燻蒸実施
冷凍保管中	・ まどみちお、佐藤惣之助、岡本かの子の文学資料計約 1,200 点 ・ 文学雑誌、書籍約 3,300 点

写真3 安田靫彦「草薙の剣」

浸水前



写真4 大矢紀「ニコライ堂」



浸水前

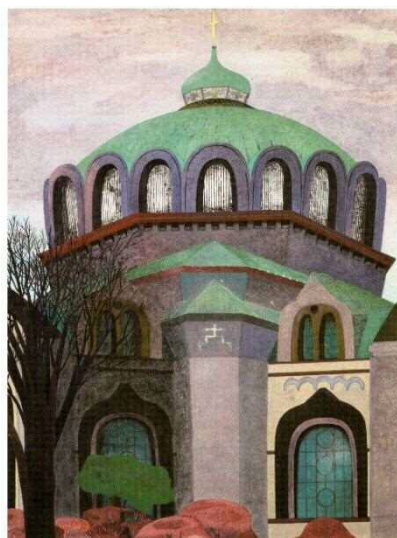


写真5 渡辺豊重「虚形」



浸水前

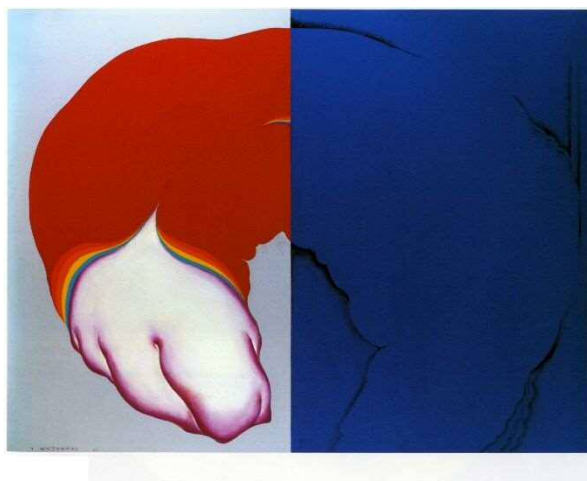


写真6 田中岑「記憶」



浸水前



【グラフィック】

現状	資料等
修復中	・ロートレック「アンバサデュールのアリスティード・ブリュアン」1点（写真7）
応急処置済	・ロートレック 18点 ・アールヌーボー等の作品（グスタフ・クリムトのリトグラフ等 316点）
応急処置中	・額装されていた作品約1,600点 額を外し、乾燥等 ・棚に収納されていた作品や貴重書籍は、重ねて収納していたことにより固着していたため、1枚ずつ剥がし完了 約1,160点 ・筒の容器に入った固着していた作品は、1枚ずつ剥がし完了 約600点
冷凍保管中	・貴重書籍のうち約650点（『無精』、『自由の重荷』（表紙）いずれもロートレックを含む）

【写真】

現状	資料等
応急処置済	・H.R. マークス「栄力丸船員」のダゲレオタイプ 2点 ※損傷が軽微なことから修復が不要のため、応急処置のみで完了
応急処置中	・19世紀の鶏卵紙（「遣欧使節団」フィリップ・ポトー、ウジェーヌ・アジェ、フェリーチェ・ベアト、上野彦馬等）、ダゲレオタイプ・アンブロタイプ 284点 洗浄・乾燥中 ・ゼラチン・シルバー・プリント（ベルント&ヒラ・ベッヒャー、ウォーカー・エヴァンズ等）197点 洗浄中 ・木村伊兵衛写真賞受賞作品のうち222点 乾燥中
冷凍保管中	・写真雑誌や貴重図書、写真帖、関連資料などコンテナボックス 63箱

【漫画】

現状	資料等
応急処置中	・漫画原画約500件（岡本一平原画、「ジャパンパンチ」、「トバエ」等） 乾燥中
冷凍保管中	・約310箱

【映画】

現状	資料等
応急処置済	・神奈川ニュース 46点（93巻）
応急処置中	・8mm、16mm、35mm フィルム等 105点（123巻） 水洗・乾燥中
冷凍保管中	・国内映画監督や脚本家の資料等はコンテナボックス 92箱

【映像】

現状	資料等
冷凍保管中	・実相寺昭雄関連の脚本等

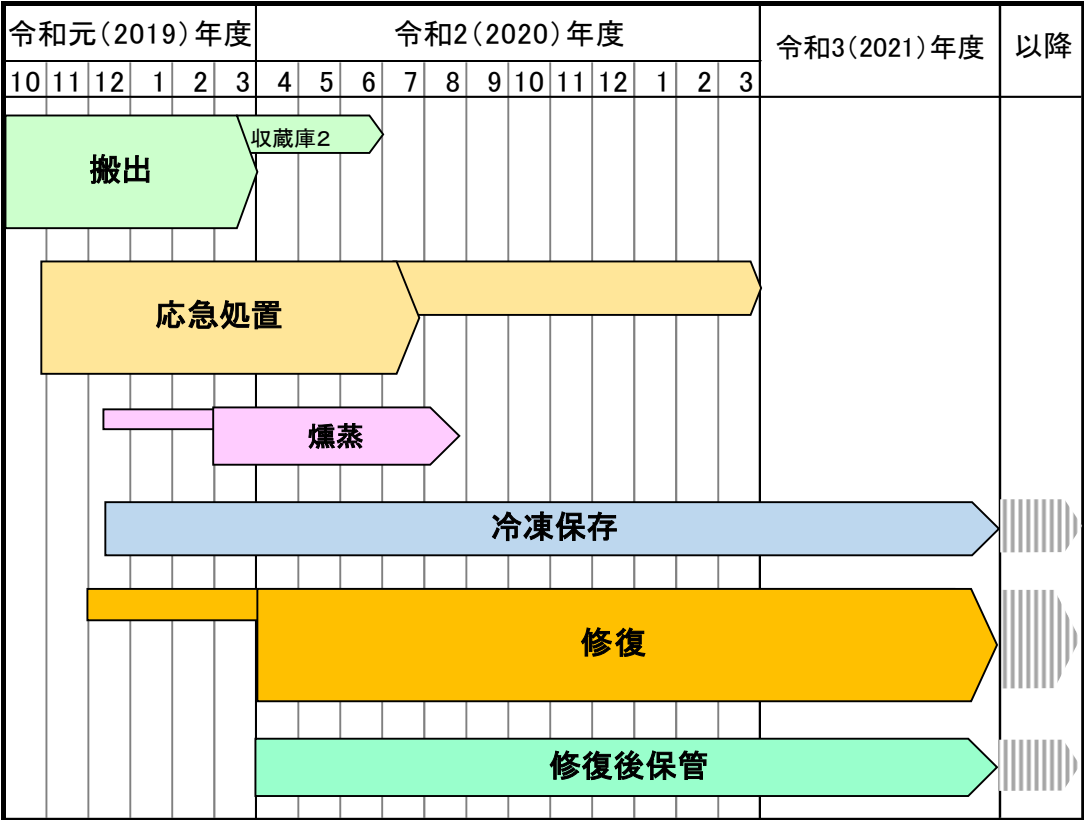
【借用作品】

現状	資料等
修復中	・犬塚勉展 100点 ・のらくろ展 4点

写真7 ロートレック
「アンバサデュールのアリスティード・ブリュアン」 浸水前



5 今後のスケジュール



6 収蔵品のレスキュー状況

(1) 収蔵庫の状況

第1収蔵庫 民俗関係（農具や生活用具等）を収蔵



搬出のための経路を確保するため、通路部分にあった資料等を整理し、1月14日から搬出を開始。
出庫率：17%

第2収蔵庫 土器等の出土品を収蔵



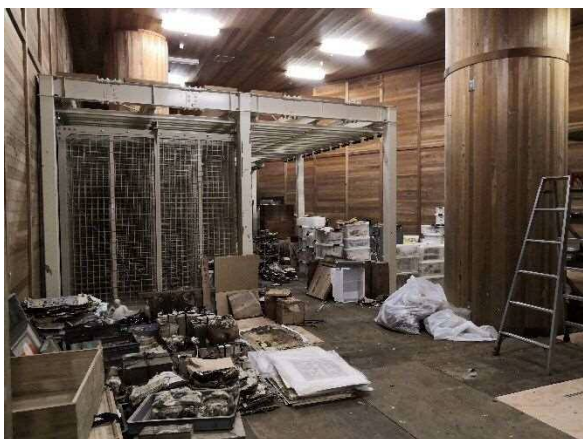
搬出のための経路を確保するため、通路部分にあった資料等の整理やコンテナ内に溜まった水を抜く作業を実施。1月23日から搬出を開始。
出庫率：24%

第3収蔵庫 県及び市の指定文化財や古文書等を収蔵



指定文化財や古文書の搬出を実施中。床に一部紙類が溶け流れたものがある。搬出した古文書は冷凍コンテナにおいて保管。11月上旬から搬出を開始。
出庫率：84%

第4収蔵庫 著名な作家や市ゆかりの作家の絵画作品等を収蔵



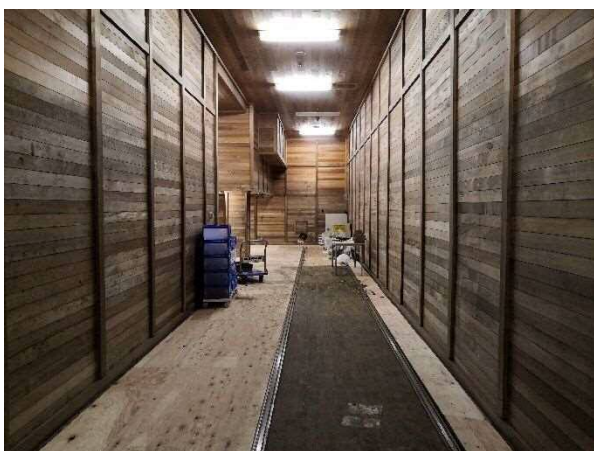
著名な作家や市ゆかりの作者の作品など、11月中旬から搬出を開始。
出庫率：77%

第5収蔵庫 絵画や借用作品等を収蔵



全ての収蔵品の搬出が完了。 現在、考古資料の仮置き場として使用。
出庫率：100%

第6収蔵庫 漫画（雑誌）等を収蔵



全ての収蔵品の搬出が完了。
出庫率：100%

第7収蔵庫 グラフィック作品等を収蔵



著名作家の作品など、11月中旬から搬出を開始。
出庫率：46%

第8収蔵庫 写真の作品やネガ、漫画の原画、映画の紙資料等を収蔵



可動棚が破損していたため、順次棚を解体しながら、漫画原画や貴重な写真など、10月下旬から搬出を開始。
出庫率：97%

第9収蔵庫

映画フィルム、戦前・戦後の日本のニュースや川崎のニュース映像作品等を収蔵



原版フィルムや棚上部の水濡れしなかった作品を搬出中。10月下旬から搬出を開始。
出庫率：74%

(2) レスキュー作業の状況
考古 コンテナの水抜き



※作業者の安全管理のため、防護服等を着用している。

日本画 下絵剥がし



水に濡れたことで下絵同士が固着したため、1枚ずつ剥がしている。

カビ払い



ミュージアムクリーナーでカビを吸引している。



ミュージアムクリーナー

民具洗浄



駐車場スペースを活用して作業を実施



水洗中

燻蒸庫 2室をラウンジに設置（1室：24 m³）



3月2日設置 主に絵画を燻蒸



燻蒸用の棚

冷凍・冷蔵コンテナ（約 26 m³＋約 26 m³＋約 56 m³＝108 m³）

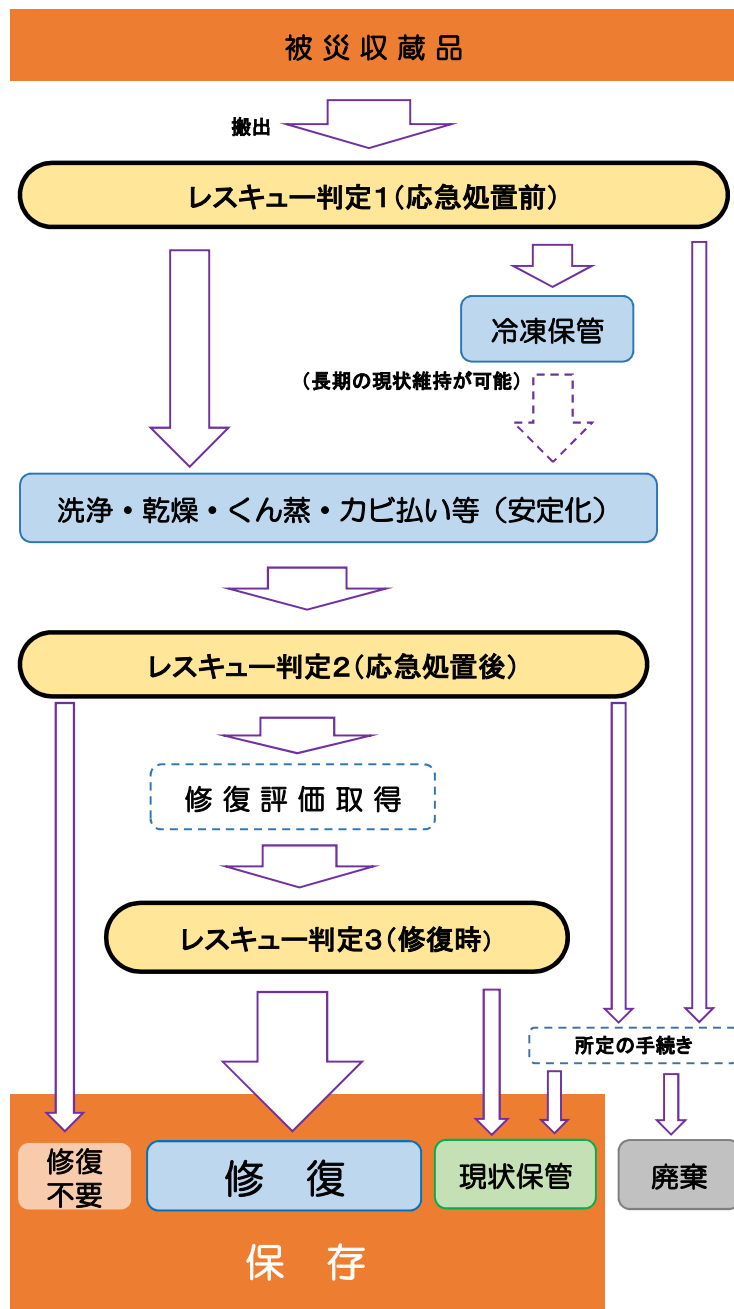


12月6日2機設置 2月18日1機追加



古文書・漫画などの紙資料を冷凍保管

【基本的な考え方】 専門家の意見等を踏まえながら、修復に取り組む。ただし、収蔵品の被災状況や修復評価※1等の内容に応じ、各レスキュー判定で「現状保管」※2や例外的に「廃棄」の判断を行う場合がある。



レスキュー判定1（応急処置前）

収蔵庫から搬出した被災収蔵品は、基本的に応急処置として洗浄・乾燥・くん蒸・カビ払い等の安定化処置を行う。古文書等の紙資料については、劣化の進行を抑えるため冷凍保管を行う。

なお、以下の基準に該当する場合は、所定の手続き※3を経て「現状保管」または「廃棄」を判断する。

- 1 収蔵庫から流出、あるいは溶けて現物が確認できなかったもの
- 2 被災状況が酷く、複製・印刷物などで当館以外でも存在が確認できるもの
- 3 作品・資料で、素材が変質して崩壊し、原形にもどすことが困難なもの

所定の手続きを経て
「現状保管」
または
「廃棄」

レスキュー判定2（応急処置後）

応急処置を行った収蔵品は、基本的に専門家等に修復評価を依頼する。

なお、以下の基準に該当する場合は、「修復不要」あるいは所定の手続きを経て「現状保管」または「廃棄」を判断する。

- 1 応急処置の段階で、修復の必要がないと判断されたもの
→ 「修復不要」
- 2 応急処置の段階で、専門家等により、修復が極めて厳しいと判断されたもの
→ 所定の手続きを経て「現状保管」または「廃棄」

レスキュー判定3（修復時）

専門家等の修復評価を得た収蔵品は、基本的に修復する。

なお、以下の基準に該当する場合は、「修復」または「現状保管」を判断する。

- 1 専門家等の修復評価において、一定程度は修復できると判断されたもの
→ 「修復」 または「現状保管」
- 2 専門家等の修復評価において、修復が極めて厳しいと判断されたもの
→ 「現状保管」

※1 「修復評価」 : 修復レベル、修復による効果、修復の期間、修復に係る費用等に関する意見等。

※2 「現状保管」 : 安定化された状態で保管すること。

※3 「所定の手続き」 : 寄託者・寄贈者等の承諾や、収蔵品データベース登載の確認など。